

2024.8.30 有識者会議資料

《多摩市立小・中学校 学校図書館司書》

1 アンケートの実施概要

①実施期間 令和6年5月8日（水）～5月31日（金）

②配布・回収方法 ・Logo フォームによるインターネット上の専用フォームでの回答。

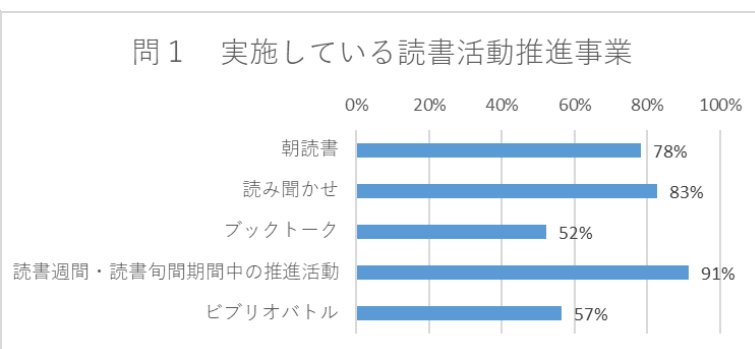
③回収件数 23 件

2 アンケートの質問内容

別紙アンケート用紙参照

問1 実施している読書活動推進事業（複数回答可）

朝読書	18
読み聞かせ	19
ブックトーク	12
読書週間・読書旬間 期間中の推進活動	21
ビブリオバトル	13
その他	0



問2（問1で「読書週間・読書旬間期間中の推進活動」を選んだ人）読書週間・読書旬間中の推進活動の内容

- ・読書ビンゴ（7件）
- ・おすすめ本の紹介（4件）
- ・おすすめ本の展示（2件）
- ・図書だよりで読書週間について発信
- ・外部（文部科学省など）の告知を発信
- ・教員のおすすめ本紹介（4件）
- ・しおりコンテスト
- ・読んだらくじ引き
- ・読書クイズ（5件）
- ・貸出冊数を増やす（5件）
- ・図書委員会が選んだ本の福袋を貸し出す"
- ・図書委員のおすすめの本（5件）
- ・貸出時にプレゼントでしおり等を渡す
- ・読書週間カード（2件）
- ・なかよし読書（異学年の読み聞かせ）（2件）
- ・図書委員による読み聞かせ（4件）
- ・親子で読書に取り組めるような活動をしています。
- ・読書ガチャガチャ（高学年 中学年 低学年）
- ・しおりデザインコンテスト
- ・図書館俳句コンテスト
- ・クラスごとの貸出数を競う読書マラソンなど。
- ・スカベンジャーハント
- ・読み聞かせ（2件）
- ・ビブリオバトル（2件）

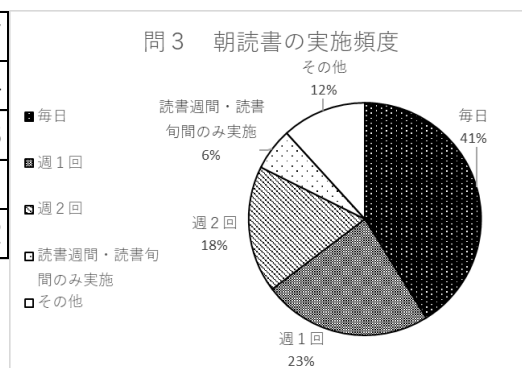
- ・毎日読書
- ・読書塗り絵
- ・おみくじ
- ・読書郵便（2件）
- ・スタンプラリー（2件）
- ・本の贈り物
- ・うちどくの実施
- ・出張図書
- ・読書貯金
- ・読書すごろく

問3 朝読書の実施頻度

毎日	7
週1回	4
週2回	3
読書週間・読書旬間のみ実施	1
その他	2

（その他）

- ・読書週間で・他は各クラスによる
- ・基本的には週5日だが、学習や行事準備などでほとんど潰れている現状



問4 読み聞かせの実施頻度

週1回	7
月2回	0
月1回	0
2か月に1回	0
学期に1回	1
年1回	2
その他	9

（その他）

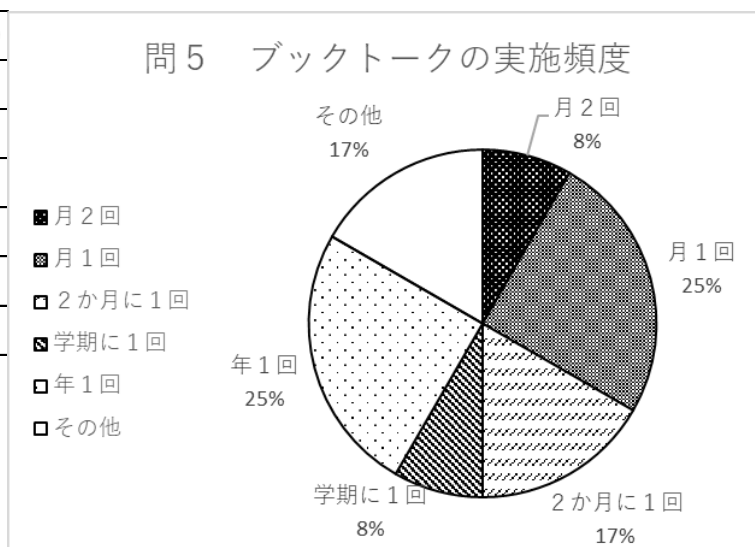
- ・毎日
- ・図書の授業（3件）
- ・特別支援学級にて週1回行っている。
- ・各クラス週に1回ずつ
- ・司書による読み聞かせ週1回、他、図書ボランティアによる読み聞かせも週1回、他、担任による読み聞かせもあり
- ・各読書週間で（2件）
- ・今年度より取り組むため未定（できたら学期に1回取り組みたい）
- ・不定期で他地域の方々の読み聞かせ

問5 ブックトークの実施頻度

週1回	0
月2回	1
月1回	3
2か月に1回	2
学期に1回	1
年1回	3
その他	2

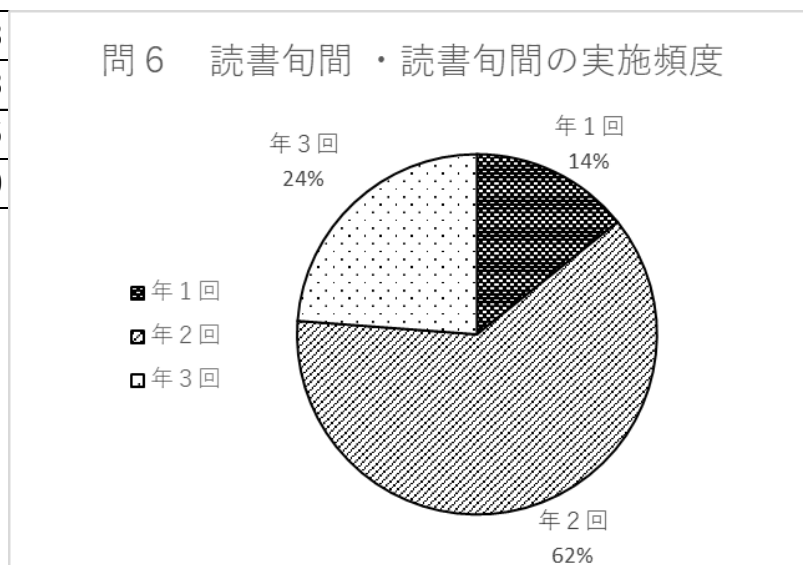
(その他)

- ・週1回の図書の時間に不定期で行っている。
- ・各クラスの図書の時間に適宜実施



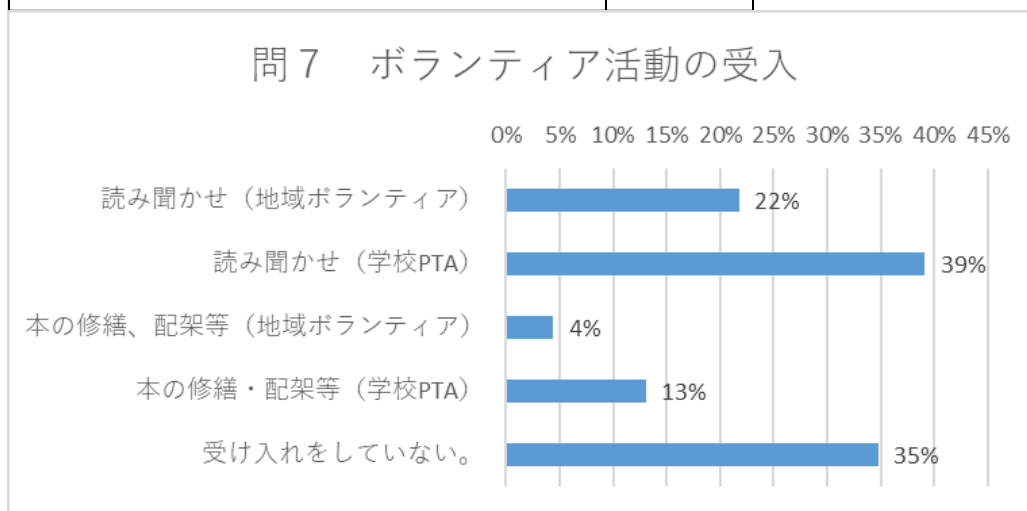
問6 読書週間・読書旬間の実施頻度

年1回	3
年2回	13
年3回	5
その他	0



問7 ボランティア活動の受入

読み聞かせ（地域ボランティア）	5
読み聞かせ（学校PTA）	9
ブックトーク（地域ボランティア）	0
ブックトーク（学校PTA）	0
ストーリー・テリング（地域ボランティア）	0
ストーリー・テリング（学校PTA）	0
本の修繕、配架等（地域ボランティア）	1
本の修繕・配架等（学校PTA）	3
受け入れをしていない。	8
その他	0

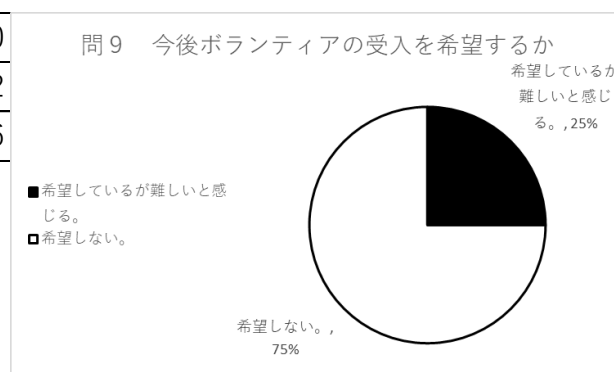


問8（問7で「受入をしていない。」と答えた人）受入をしていない理由

- ・そのような団体を見つけられない。司書には、学校運営に関する決定権がない
- ・今のところ、特に必要と思っていないため。
- ・今まで受け入れてきた前例がなかったため。
- ・学校の方針なのでわからないが、受け入れるには準備が必要なので、司書だけで動けることではない。
- ・お申し出がないため。
- ・コロナ禍前は地域ボランティアがいたが、コロナ禍以降活動停止となっている。

問9（問7で「受入をしていない。」と答えた人）今後ボランティアの受入を希望するか

希望する。	0
希望しているが難しいと感じる。	2
希望しない。	6

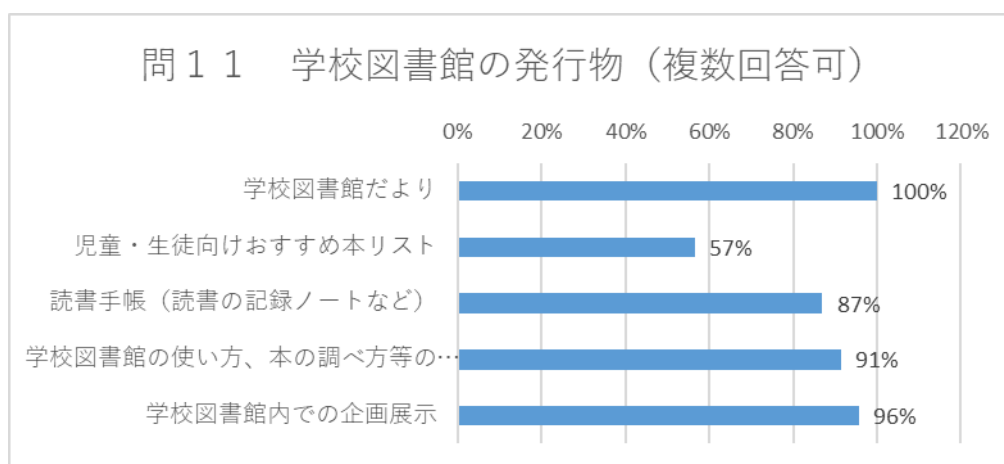


問10（問9で「希望しているが難しいと感じる。」「希望しない。」と答えた人）理由

- ・学校が決めることなので
- ・勤務時間が短く、ボランティア対応が難しい
- ・中学生は、部活動もあり、放課後は時間的に厳しい。唯一、朝読書の時間があるので、その中で読み聞かせやブックトークといったことも可能かと思いますが、外部からボランティアとなると学校の負担も出てくると思うので、必要となれば司書の方で関わりたいと思います。
- ・お願いしたい活動内容がない。あっても学校のスケジュールと合わせて考えると難しいと思われる。
- ・外部の方をお願いするより前に、生徒とそのような活動をして、図書館に関心を持ってもらう方がより良い学校図書館になると思うから。
- ・トラブルも多いと聞いているので、受け入れに不安があるため。
- ・地域の方の目線でブックトークなどをしていただくと生徒たちの刺激となると思うが、していただく時間（枠）がとれない。

問 1 1 学校図書館の発行物（複数回答可）

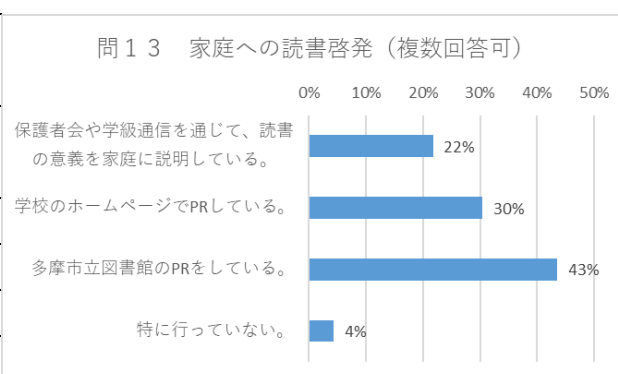
学校図書館だより	23
児童・生徒向けおすすめ本リスト	13
読書手帳（読書の記録ノートなど）	20
学校図書館の使い方、本の調べ方等の資料	21
学校図書館内での企画展示	22
どれも行っていない。	0
その他	0



問 1 2（問 1 1 で「どれも行っていない。」と答えた人）理由 → 回答該当者なし

問 1 3 家庭への読書啓発

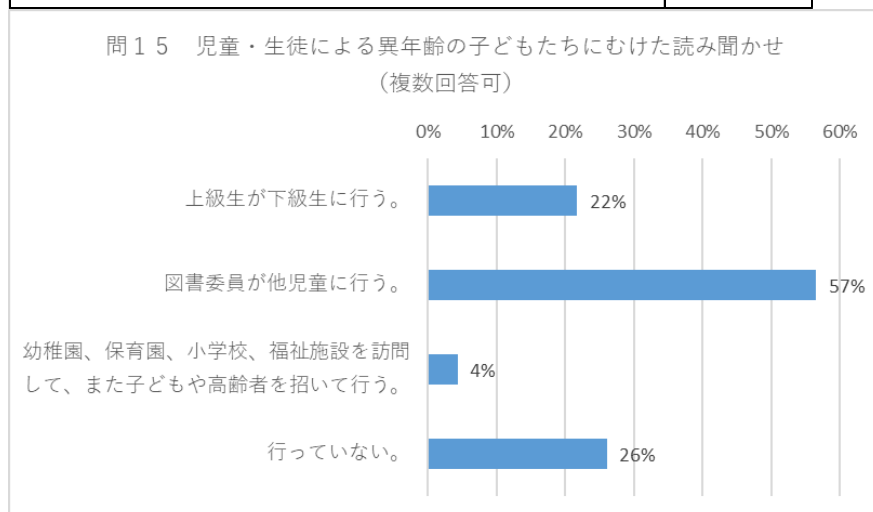
保護者会や学級通信を通じて、読書の意義を家庭に説明している。	5
家庭における読書活動を啓発するための読書会、研修会を行っている。	0
学校のホームページでPRしている。	7
多摩市立図書館のPRをしている。	10
特に行っていない。	1
その他	8



問 1 4（問 1 3 で「特に行っていない。」と答えた人）理由 → 回答なし

問15 児童・生徒による異年齢の子どもたちに向けた読み聞かせ（複数回答可）

上級生が下級生に行く。	5
図書委員が他児童に行く。	13
幼稚園、保育園、小学校、福祉施設を訪問して、 また子どもや高齢者を招いて行う。	1
行っていない。	6

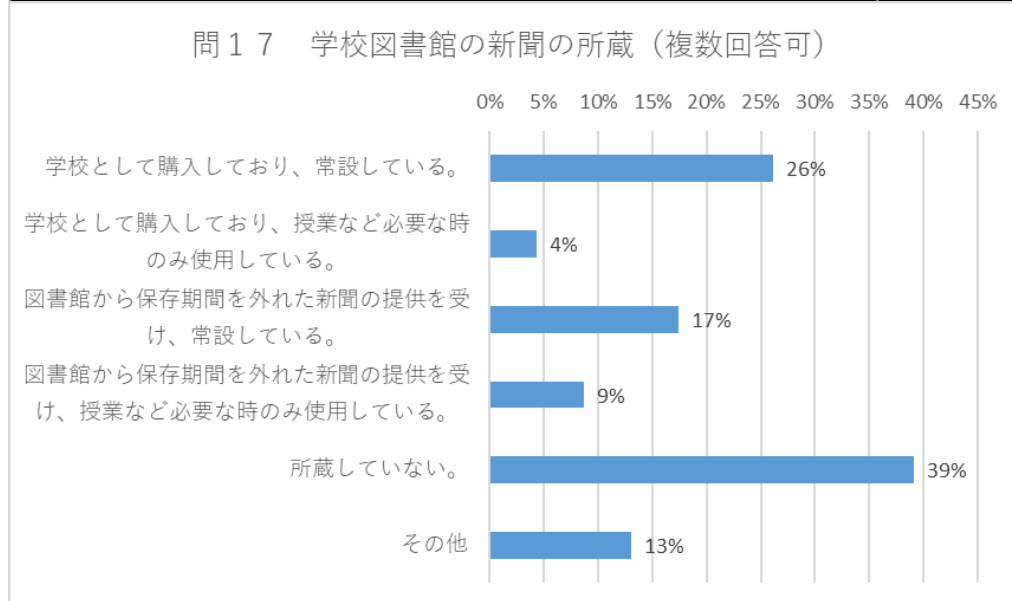


問16 (問15で「行っていない。」と答えた人) 理由

- ・ 行う時間と場所がないため。
- ・ 学校図書館主導としておこなってはいないが、図書委員の活動として、全校児童向けの読み聞かせ集会やクラス担任の先生主導で（国語の授業の一環と思われます）下級生向けの読み聞かせを行ったりしている。そのため、学校図書館主導としては行っておらず、そのような時間を取るの難しい。
- ・ コロナ以前は実施していたようだが、コロナで途絶えた。
- ・ 図書委員会の活動で企画を決めた中にはそのような企画が無かったから。ただし、放送を使った読み聞かせは、今年度もあがったので、多数決で希望があれば、後期の委員会で行う可能性はある。
- ・ 図書委員会の企画数に限度が設けられている。また委員から読み聞かせが企画にあがらない。

問 17 学校図書館の新聞の所蔵（複数回答可）

学校として購入しており、常設している。	6
学校として購入しており、授業など必要な時のみ使用している。	1
図書館から保存期間を外れた新聞の提供を受け、常設している。	4
図書館から保存期間を外れた新聞の提供を受け、授業など必要な時のみ使用している。	2
所蔵していない。	9
その他	3



問 18（問 17 で「所蔵していない。」と答えた人）理由

- ・新聞台はあるが、館内に見かけない。異動したばかりで状況は分からない。
- ・予算がない（5件）
- ・置き場所がない。（2件）

問 19 新聞の閲覧以外の活用事例

- ・話題の本の選書
- ・作家の情報を得る
- ・話題のニュースで展示の内容を考える"
- ・習字や図工の汚れ防止で使うこともあります。
- ・図書委員が気になる記事を読んで感想を書き、校内に掲示しています（2件）
- ・図書室の蔵書の本を紹介する時に、記事の中で同じテーマのものがあれば本と共に紹介します。

・児童向けの新聞があった場合、一定の期間が経ったものは文字探しゲーム等の活用が考えられる。切り抜いて調べる記事に使うには、新聞としての期間が経ちすぎる。最終的には図工へ回すと思う。図工専科には、大人向けの記事が入っていることがなく安心して使用できると言われていた。汚れ防止の敷物、持ち帰りの包装のほか、高層の構造物作成に使われて紙としての役割を終了していた。

・調べ学習のテーマになりそうな記事については、ロイロノートの資料箱に入れて、授業に活用している。

・コーナーを作っている。(3件)

・興味深い内容は、切り取って、展示している。

・新聞投稿

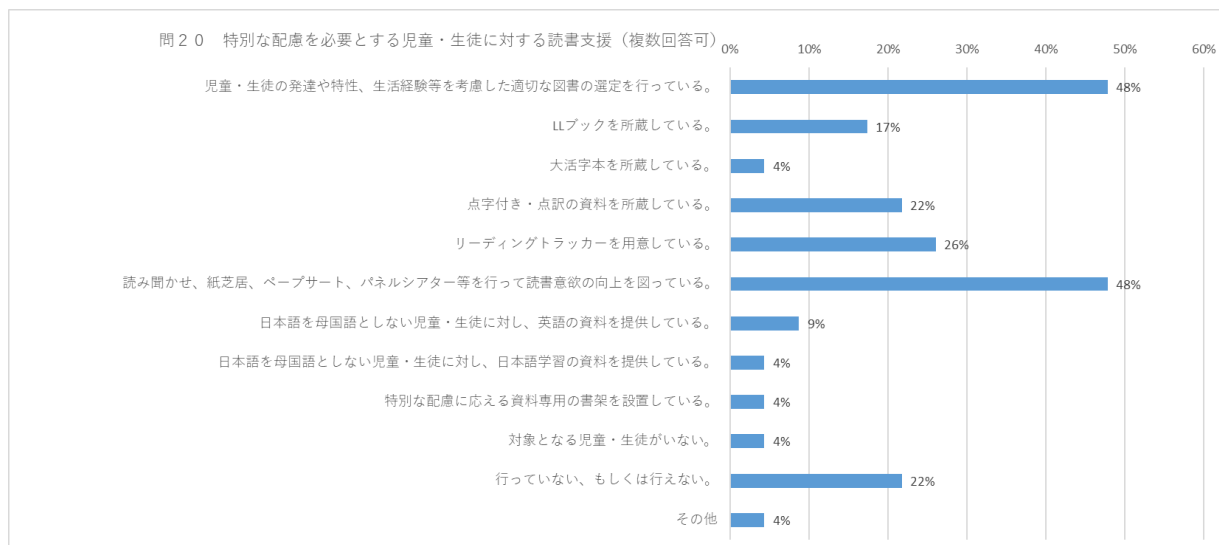
・特別支援学級にて、直近1か月の気になるニュースを探し、その記事をスクラップし、紹介している。

・国語の参考

・国語の新聞活用の单元がある時

問20 特別な配慮を必要とする児童・生徒に対する読書支援（複数回答可）

児童・生徒の発達や特性、生活経験等を考慮した適切な図書の選定を行っている。	11
LLブックを所蔵している。	4
大活字本を所蔵している。	1
点字付き・点訳の資料を所蔵している。	5
録音・朗読資料を所蔵している。	0
布の絵本を所蔵している。	0
マルチメディアデジターを所蔵している。	0
リーディングトラッカーを用意している。	6
拡大読書器を設置している。	0
読み聞かせ、紙芝居、ペープサート、パネルシアター等を行って読書意欲の向上を図っている。	11
日本語を母国語としない児童・生徒に対し、英語の資料を提供している。	2
日本語を母国語としない児童・生徒に対し、日本語学習の資料を提供している。	1
日本語を母国語としない児童・生徒に対し、母国語にあたる言語の資料を提供している。	0
特別な配慮に応える資料専用の書架を設置している。	1
外部機関から資料を借りて提供している。	0
対象となる児童・生徒がいない。	1
行っていない、もしくは行えない。	5
その他	1



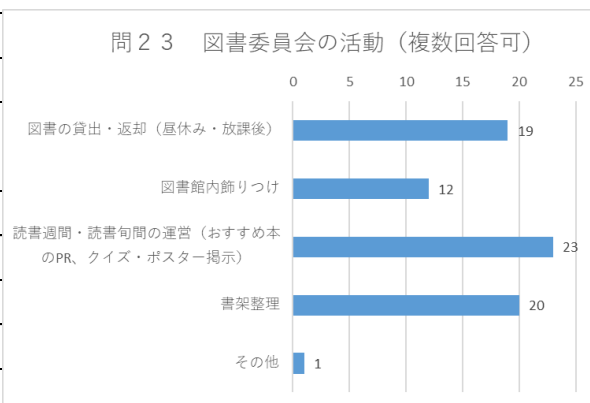
問21（問20で「外部から資料を借りて提供している。」と答えた人）外部からの借用の詳細 →回答該当者なし

問22（問20で「行っていない、もしくは行えない。」と答えた人）理由

- ・予算が足りない。
- ・考慮が必要な生徒の情報が司書にこない。その為、読書相談全般において配慮した本を紹介するようにしている。
- ・大活字本などの所蔵がないため

問23 図書委員会の活動

図書の貸出・返却（昼休み・放課後）	19
図書館内飾りつけ	12
読書週間・読書旬間の運営（おすすめ本のPR、クイズ・ポスター掲示）	23
書架整理	20
おすすめ本の紹介（ポスター作成等）	23
委員会活動の記録・広報	14
図書館だより作成	3
その他	1



（その他）映画観賞会

問24 図書委員会の課題

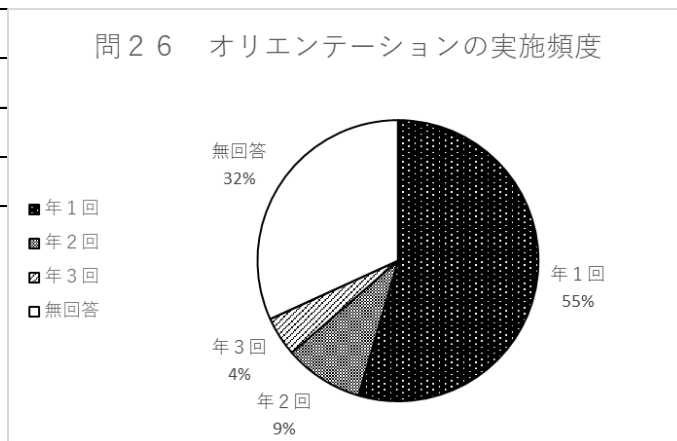
- ・委員会時間をはじめ、活動などのサポートなど、どの程度関わって良いのか、学校によって（担当の先生によって）異なるため、難しい
- ・貸出返却をすると間違いが起こることもある。
- ・読書週間は児童のアイデアをどこまで実現させるか迷う。
- ・委員会として、活動方針を決め、その方針に沿って活動をしっかりしてくれています。図書室のこともとてもよく分かっていて、頼れる存在です。
- ・ハンディでの貸出が出来るように教えているが、今回どの程度新しいハンディになるか分からないので、図書委員会による貸出をストップしている。
- ・昼休みが短くなってしまったので、昼休みの図書館イベントが難しくなった。
- ・生徒が忙しい。その中で、やる気を出してもらえよう、やりがいを感じてもらえようにするのが課題。
- ・毎回同じ企画になりがち
- ・委員会の活動できる日数や時間に限りがあり、やりたいことがあっても制限される。
- ・行事などが重なりなかなか活動の時間が取れない

問25 学校図書館オリエンテーション

- ・実施している 22校 ・無回答 1校

問26 オリエンテーションの実施頻度

年1回	12
年2回	2
年3回	1
無回答	7



問27 オリエンテーションの実施時期（複数回答可）

4月・年度当初	21
学期はじめ	1
学期終わり	1
その他	2

（その他）

- ・長期休み後のどこか
- ・国語の教科書で図書館の単元が入る時に、教員より依頼があれば行う。

問 2 8 学校図書館の開館日（複数回答可）

月～金	22
夏休み	5
冬休み	0
春休み	0
その他	2

（その他）

・ 水曜日を除く月～金曜日

・ 夏休み中、1日、開けている

問 2 9 （問 2 8 で「夏休み」を選んだ人）夏休みの開館日数

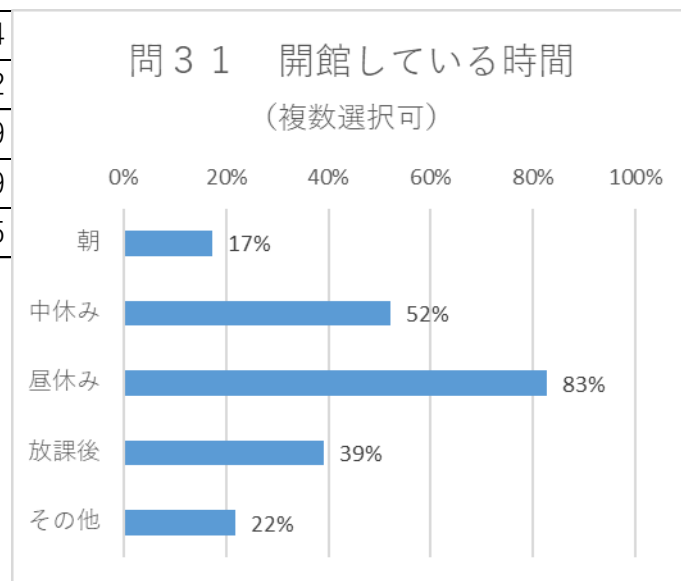
・ 1日（2件） ・ 2日（3件）

問 3 0 （問 2 8 で「冬休み」を選んだ人）冬休みの開館日数→回答該当者なし

問 3 1 （問 2 8 で「春休み」を選んだ人）春休みの開館日数→回答該当者なし

問 3 2 開館している時間（複数回答可）

朝	4
中休み	12
昼休み	19
放課後	9
その他	5



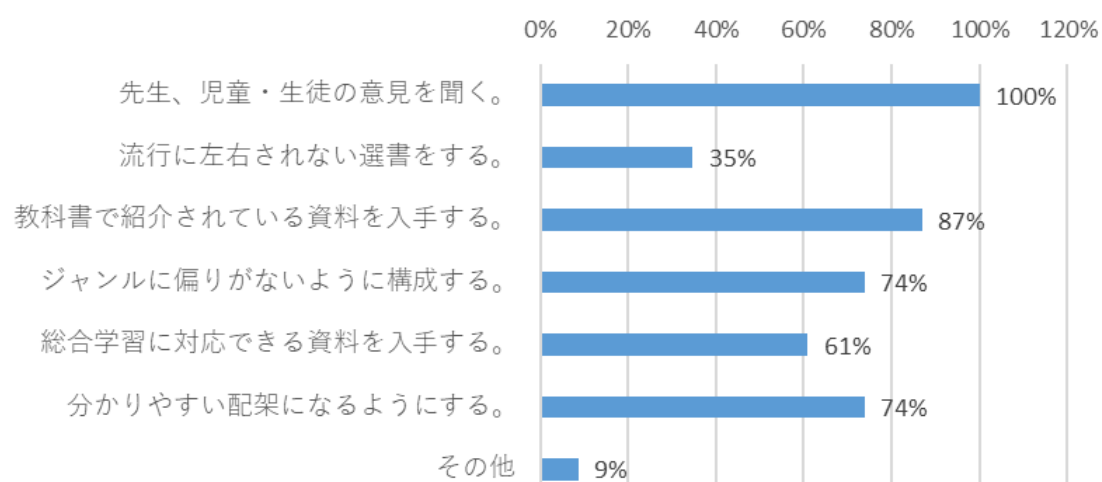
問 3 3 蔵書構成の工夫

先生、児童・生徒の意見を聞く。	23
流行に左右されない選書をする。	8
教科書で紹介されている資料を入手する。	20
ジャンルに偏りがないように構成する。	17
総合学習に対応できる資料を入手する。	14
分かりやすい配架になるようにする。	17
その他	2

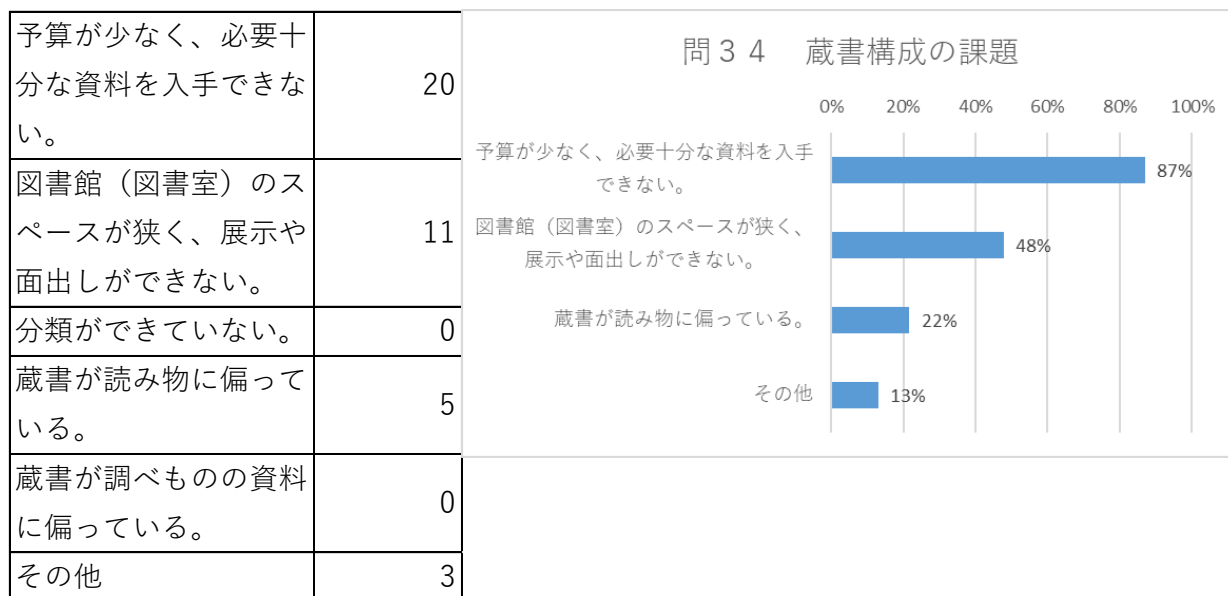
(その他)

- ・防災のために書棚の上に置かないよう書棚に収まる冊数にしている
- ・古い本を置かないようにする、個人で蔵書にしないようなもので授業で利用できるような高価なビジュアル本
- ・自動車と電車、動物とペット産業の配架が分かれなように、請求記号を変更している。

問 3 3 蔵書構成の工夫



問3 4 蔵書構成の課題



問3 5 棚づくり、展示等での工夫

- ・NDC 順を徹底することで、誰でも、いつでも、公平な状態で本を探せるようにしている
- ・面だしできる場所を確保し、なるべくポップをつけている。展示本を数カ所に配置し、常に新しいおすすめ本が目につくように展示期間を考え、時差をつけて展示を入れ替えている。
- ・分かりやすい配架。季節や行事を取り入れた展示。など
- ・読み物を中心に、周りを知識の本が囲むようにしている。表示はラベルと同じようなデザインにして、低学年でも分かるようにしている。
- ・色々な分類の資料に関心を持ってもらえるように、選書の際に気をつけたり、新しい本を目立つように並べます。
- ・学校行事や季節、世の中の出来事に合わせた展示をし、生徒の関心や知識を広げられるように心がけています。
- ・書架に並んでいるとなかなか手に取られない本をテーマ展示し、気づいてもらえるようにします。
- ・映像化された本や話題になっている本を展示して、学校図書館に興味を持ってもらえるようにします。"
- ・世界・国内での出来事などに関心を持ってもらえるように、そのような内容に関連付けて展示することが多いです。
- ・また、その展示をする際は、本だけではなく、司書の方で調べものをし、その結果を何かしらの形にして一緒に展示しています。

- ・調べものをする過程で、様々な本に出会うことができるので勉強になっています。
 - ・分かりやすい書架表示を工夫しています
 - ・こどもたちが見やすい・わかりやすい・手にとりやすい本棚となるようにしている
 - ・面差しが出来る棚では、積極的に見せる。亡くなった作家のニュース等を掲示し、出版社がホームページで特集していることを表示する。
 - ・どの書架にも目が行くように、目を引く本をバランスよく購入
 - ・学校行事に合わせた本の展示を行なっている。
 - ・意外性のある取り合わせで展示を構成する。図書館に来るたびに、ちょっとした発見があるようにミニコーナーも更新する。
 - ・季節に合わせて展示を変えたり、図書委員会や生徒の成果を反映できるようにしている。
 - ・入口近くは、図書委員会の企画一福袋やPOPやクイズなどを展示する。"
 - ・書架サインをわかりやすくしている。
- なるべく平面に配架。展示物は保護者のサポーターの方が作成して下さる。
- ・「今日は何の日」などを参考に、さまざまなジャンルの本を展示することで、日頃生徒さんたちの目に触れない本を生徒さんたちが手に取る機会をつくっている。
 - ・ポップを設置。帯もポップのように展示している。文学賞受賞など話題になったものは、そのポップも設置。
 - ・季節の本や教科書にのっている本を展示して、興味を持ってもらえるようにしている。
 - ・季節感がでるようにしている
 - ・SDGsコーナー、新刊コーナーなどの別置、目印(例:絵本でもむかしばなしは桃のマークで別置、やさしいよみものはクローバマークで別置など)
 - ・別置や季節の展示などをしている

問36 司書教諭、学校図書館司書、担任でどのような協力をしているか

- ・支援が必要な生徒の情報交換
- ・図書委員活動の相談を司書教諭の先生としています。担任の先生とは、返却期限を過ぎた生徒への対応や、学級文庫の相談等
- ・調べ学習に関する相談、読書週間の企画など
- ・話をする機会を設け、情報を共有する。特に国語の授業の進みは確認する。職員室版の図書だよりを発行する。
- ・学校図書館の運営方法、図書委員会の活動内容
- ・教科に合わせて本の紹介、学校図書館の使い方説明、資料の使い方指導、調べ学習の本の提供などを行っています。司書教諭と司書は、図書購入の選書、委員会活動などで連携しています。

- ・国語や生活の単元等で必要な本がある場合は連絡をもらってすみやかに本を用意するようにしている
- ・授業中は、担任と二人体制で進める。司書教諭との連携は、司書共にこの学校で初なので、全てこれから。お便りの発行や図書や備品発注時には、司書教諭の承認をもらっている。予算会議も司書教諭にお任せすることになる。
- ・司書から先生方への情報や要望は司書教諭を通して発信
- ・教科に対応するよう読み聞かせや資料の提供を行なっている。
- ・主に総合 ESD 学習の授業支援。
- ・委員会などの進め方を話し合っている
- ・国語科や図書に関心のある先生と情報交換をしている。
- ・今年度の1学期は、1、2年生に国語の先生が図書の時間として、
- ・月に2回生徒を図書館に連れて来てくれる。
- ・場所も人間も、近しい感じになっている。"
- ・司書教諭とは、図書委員会が行う行事やイベントが成功するように、事前に情報交換している。
- ・担任とは、調べ学習や、授業で使う資料の情報をもらい、本を揃えるように、準備している。
- ・授業に関連した内容(国語、調べ学習)は、相談協力して行っています。
- ・司書教諭の先生とは、図書委員会を協力して運営している。
- ・特別支援学級の担任の先生と、お昼休みなどに一人で図書館に来にくい生徒さんへの対応を相談し合ったり、特別の教科道徳で使用する教材としての絵本の相談をし合ったりしている。
- ・現状、図書館運営は司書だけで行っている。
- ・他の教員はほぼ図書館運営に関わっていない。
- ・司書は職員会議にも出られないため、教職員への図書関連の周知などは相当な時間と配慮が必要。
- ・学級貸出や委員会を通じて子どもたちが多くの本に会えるよう話し合っている。
- ・コミュニケーションを密にし、情報交換（その時の学習内容など）とっている、並行読書など
- ・国語の中の図書館単元の協同、読書活動推進の企画準備、図書委員会の運営や常時活動の補佐、書架整理などの補佐
- ・総合の探究学習をそれぞれが連携して行っている
- ・国語の授業に関連した連携を取っています。

問37 学校図書館として、一人一台端末と校内インターネット環境を活用した事例

- ・ロイロノートでカーリルを使用。資料箱に図書室のファイルを作成している。
- ・司書がタブレットを持っていないので、難しい。
- ・コロナで間隔をとって読み聞かせをする際にテレビを使ったが、タブレットで前もって絵本を撮影したり、分類の説明などでポイントを押さえる原稿を作っておくの活用した。読書週間でタブレットを使ったアンケートを行った。

調べ学習で使うサイト集の提供

- ・ビブリオバトルを行う時に、本の紹介をするのに活用したことがあります。
- ・司書には端末が与えられておらず、私自身さわったこともなく、使い方もわからず活用したくてもできない。
- ・児童が記録などに写真を撮ったりしているが、図書の時には持ってきていない。活用するなら、図書の時間を国語以外の調べ学習などで使えることをアピールできてからになると思う。
- ・委員会ではロイロノートを活用。図書委員の図書だよりはロイロノートで作成。
- ・情報メモをロイロノート資料箱にも用意。調べ学習の情報記録が、容易になった。
- ・情報リテラシー関係の各種スライドをロイロノートで作成。"
- ・生徒は全員ツールとして活用している。図書委員会などの振り返りや作業の説明などでも、生徒が使っている。
- ・としょだよりの作成時に利用している。
- ・郷土について調査している。
- ・ビブリオバトル
- ・特別支援学級の、一人一台端末を使用した授業（特別の教科道徳）の授業支援を、絵本の読み聞かせをおこなうことをとおして、司書がおこなう。
- ・学習アプリ「ロイロノート」に調べ学習用のウェブサイトや図書だよりをアップしている。
- ・ロイロノートに授業に役立つ情報等を記載している
- ・全校ビブリオバトル

問38 一人一台端末の導入による、学校図書館利用の変化

- ・学校図書館で資料を調べながらタブレットも活用し、図書館内で充実した調べ学習ができるようになった。
- ・特に感じない（7件）
- ・調べ学習ではネットを利用することもあり、本の活用は以前に比べると少し少なくなっているのかもしれない
- ・現在の学校ではないが、職業調べなどで来なくなった。担任によっては、サイトの切り貼りのみで単元を終わらせることがある。

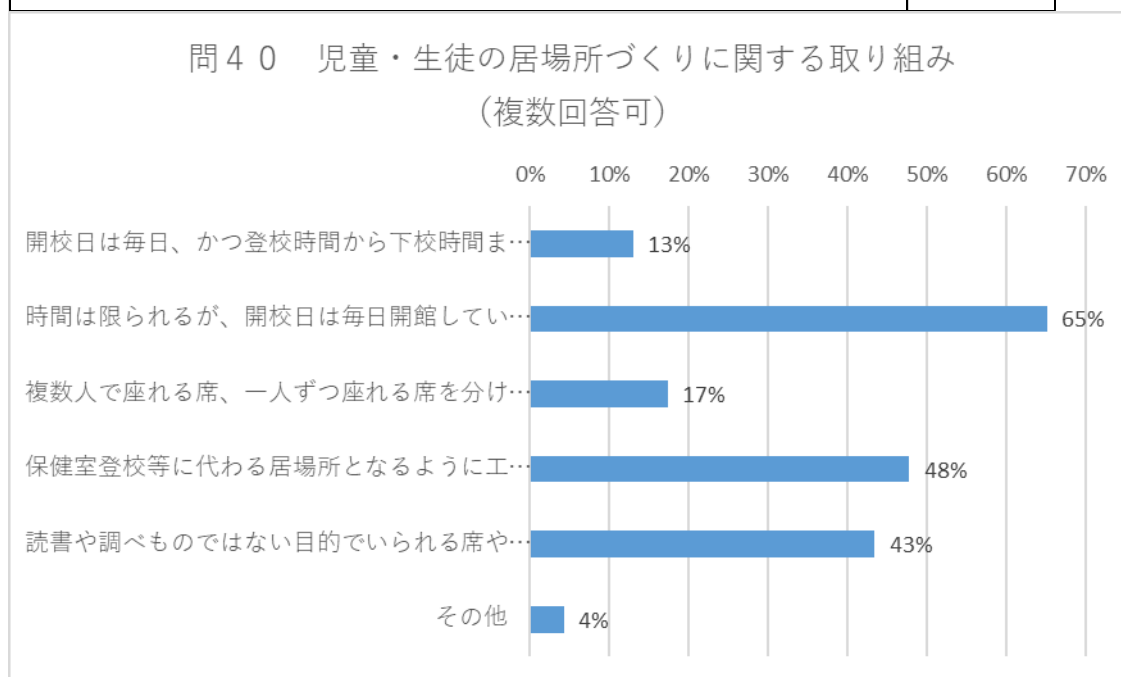
- ・調べ学習などの際に副本を用意する必要がなくなった。
- ・抜書の苦手な児童にはタブレットを有効に活用する(抜き書き部を拡大、ラインを引くなど)
- ・調べ学習で紙の資料を使うことが少なくなった。iPad で調べておしまい。図書館の空間だけでも利用しませんか？と提案しても敬遠されてしまう。
- ・修学旅行の業者がタブレットで調べを含めたプランをプレゼンしてくるので、
- ・時間的に、形だけ紙でも調べようという流れにはなっていると思う。その一方で、コピーが多くて、紙も併用していかなくてはという流れも出てきている。
- ・学校図書館に就いた時から端末がありましたが、一人一台は、必須だと思います。
- ・調べ学習に関しては、年々学校図書館で行われなくなった。それ故に、ロイロノートでウェブサイトを多数紹介している。
- ・勤務前から導入されていたため不明。
- ・図書館利用の頻度が若干減った（２件）
- ・ロイロ→ミラーリングで図書の実践に活用するなど大変有効だった。他にも、先生方との情報共有、授業の日程変更をスプレッドシートで行い確認できるなど

問３９ 多摩市電子図書館の授業利用

「知っているが使ったことはない」→23 件（100％）

問４０ 児童・生徒の居場所づくりに関する取り組み（複数回答可）

開校日は毎日、かつ登校時間から下校時間まで開館している。	3
時間は限られるが、開校日は毎日開館している。	15
複数人で座れる席、一人ずつ座れる席を分けている。	4
保健室登校等に代わる居場所となるように工夫している。	11
読書や調べものではない目的でいられる席やスペースがある。	10
その他	1



問４１ 多摩市立図書館が発行している児童・生徒向け発行物（ブックリスト、利用案内、おはなし会のチラシ等）についての要望気付いた点

・学校で活用するには、ブックリストのテーマを時期を合わせた学校行事にする、調べ学習の資料選書を学校図書館と合同で行うなどできると効果的

ブックリストはなるべく読むように、たくさん宣伝しているし、読む機会を設けている。基本は今まで通りで、年度ごと、学年ごと、小学生のくくり、図書館員の誰がおすすめ、有名人がおすすめとか・・・別の形のブックリストも更新があるといい。もっと互いに連携したい。アンケートを取ってくれたり、連携を考えて下さっていることは強く感じています。

・いつも図書館に置かれているブックリストを拝見しています。とても参考にさせていただいています。中央図書館が新しくなったので、もっと子どもたちに図書館を活用してもらえよう、

ティーンズ向けのブックリストを印刷して、図書室内に掲示しようと思います。2024 年に入ってからブックリストがカラーでとても楽しく、今後のブックリストも楽しみにしています！"

- ・学校で活用するため、「よんでみよう」を持ち帰りません。
- ・表紙に載せている保護者の方へのお知らせが届かないのが心苦しいです。可能であれば学校と家庭に 1 部ずついただけると良いと思います。家庭でも読書推進になるかと。
- ・「よんでみよう」は学年ごとに発行されていてわかりやすくよいと思います。
- ・ブックリストは、A4 の読書ノートへ貼るには大きい。
- ・紙の配布物もよいのですが、pdf で配布できてもいいのでは？と思います。
- ・多摩市立図書館のブックリストや出版社のブックリストは、配るだけではそのままになってしまうので、タイミングが合えば、図書の時間などでクラスで一緒に見る時間が取れたらと思っている。
- ・いつも利用し、参考にしています。
- ・お便りなどは紹介はしますが、継続できないのが、もったいない気がします。
- ・カウンターにおいて、活用させてもらっています。
- ・現場に即したリストを要望する（若干古く感じる）
- ・大きさを揃えてほしい、手に入らない絶版本をはずしてほしい

問 4 2 多摩市立図書館ホームページにある「こどものページ」を児童・生徒をはじめ保護者、教職員の方にも利用していただけるために、改善事項として挙げられる事項をご記入ください。

- ・ティーンズのページは、あまり欲しい情報がない
- ・パスファインダーのようなものなど、学習に役立つ情報を掲載してほしい"
- ・子どものページをもう少し前面に出したり、先生方の端末からすぐに検索できるようなシステムがあるといい。
- ・とても素敵なホームページだと思います。
- ・中学生の子どもを持つ親は、子どものことで悩んでいる方も多いと思うので、その方向けの本の紹介コーナーなどがあるといいかもしれません。
- ・教職員に対しては、SDG s 関連の授業がよく行われるので、SDG s の学び方を示した資料などがあると関心を持たれるのではないかと思います。
- ・「よんでみよう」についている QR コードを追加し、子どものページがすぐ開くと、子どももページにたどりつきやすいかもしれません。
- ・教科書に紹介されている本を紹介するページもあるといいなと思います。"
- ・学校のタブレットに、市立図書館のアカウントを入れても良くすること。
- ・ホームページ上の方、目立たない場所にあるので、あまり利用されないのでは。

・こどものページはよくできているので、改善事項は思い浮かばないですが、私も学校HPの学校図書館のページを始めたばかりなので、お手本にさせてもらいたいです。"

多摩市ホームページの「こどものページ」を学校では、あまり見ていないので、情報をもらいたい。

- ・広報活動
- ・バーナーが目立つ位置にあると良いかと思う。
- ・学校図書館でも案内をすべき。"
- ・ホームページの中でどこにあるのか見つかりにくいように思います。
- ・周知方法の工夫
- ・知らない人が多いため、まず認知からだと思います。

問43 特別な配慮を必要とする児童・生徒に対しての読書支援について、多摩市立図書館に期待・希望すること

・児童に聞くと、読書が好きな子は図書館に行くけれど、そうでない子は足が向かないのかなという印象を受ける。読めない子が自然に図書館にいけるように、行ったらこれができるというなにかがあるといいと思うのですが、難しいことかなとも思います。

・学校では、特別な配慮を必要とする生徒への細やかな対応や支援が行われており、学校図書館としても、今後連携していければと思います。

・多摩市立図書館では、このような内容のノウハウを多くお持ちだと思いますので、ぜひ、研修などを通じて、教えてもらえる機会があると学校図書館としては有難いです。"

・リーディングトラッカーの貸出

・学年別のお勧めでは、難易度が高い。難易度が易しくかつ、内容は幼稚でないもの。

・特別な配慮を必要とする生徒の読書支援について、まとめて書いてある文書があるとわかりやすいです。

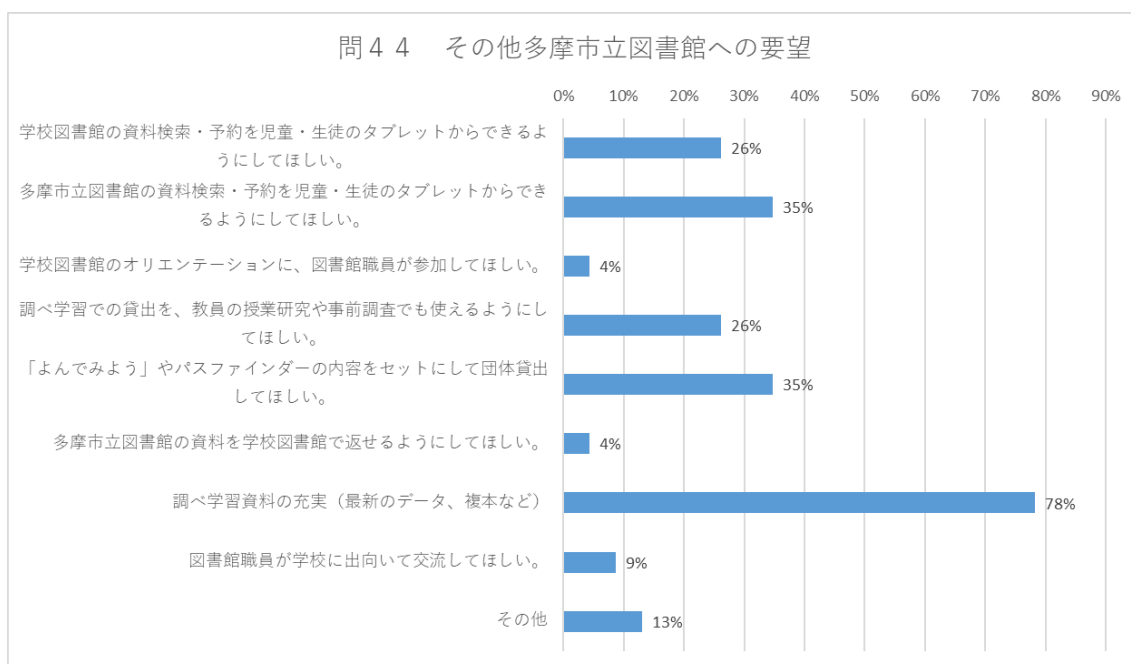
・点字付き、さわる絵本の蔵書の充実を希望します。

・学校の予算では購入できないので、変わらず資料を揃えてくださるとありがたい。

・LL ブックなどのセットの長期貸出、情緒固定や知的固定などの児童向けのセット

問 4 4 その他多摩市立図書館への要望

学校図書館の資料検索・予約を児童・生徒のタブレットからできるようにしてほしい。	6
多摩市立図書館の資料検索・予約を児童・生徒のタブレットからできるようにしてほしい。	8
学校図書館のオリエンテーションに、図書館職員が参加してほしい。	1
調べ学習での貸出を、教員の授業研究や事前調査でも使えるようにしてほしい。	6
「よんでみよう」やパスファインダーの内容をセットにして団体貸出してほしい。	8
多摩市立図書館の資料を学校図書館で返せるようにしてほしい。	1
調べ学習資料の充実（最新のデータ、複本など）	18
図書館職員が学校に出向いて交流してほしい。	2
その他	3



問 4 5 「(仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画」の策定に対する意見

- ・学校の図書予算が増えるような働きかけをしていただきたいです。
- ・学校図書館の標準冊数に達していれば安心しがちかもしれませんが、実際は情報が古く、使えない本が多いのが実態です。
- ・資料購入費が少なく、百科事典も 20 年前のものだけです。また、新聞も購入したいですが予算がなく入れられません。
- ・調べ学習充実のため、百科事典が各校 1 セットは保証されるとありがたいです。他自治体では、ポプラ社の有料オンラインサービスなどを導入しているようです。賛否はありますが、検討してみてはいかがでしょうか。
- ・策定については、学校図書館のことをよく理解してほしいです。
- ・学校司書が何の権限もない、一日 5 時間勤務の補助スタッフであることや、研修もほとんどが自主研修で、誰の何の補助をすればいいのか手探りなことも。それでも、何とかい

い図書館にしようとしていますので、司書や学校にできることと、できないことを理解していただきたいです。

・多摩市の児童は、本が好きで、とてもよく、本を読んでいるようです。これからも、ますます、読書が好きになるよう、支援していきたいと思います、よろしくお願いいたします。

図書の10年計画は異動などもあるので、継続して書き続けるのは難しい書類でした。